

# 会議報告書

令和6年3月26日

防災安全課 防災係

鎌田 俊郎

件名	名取市防災会議
日時	令和6年3月26日(火) 14:00～14:35
場所	市役所 議会棟3階 第1～第3委員会室
出席者	名取市防災会議会長及び委員等 40名(別紙出欠名簿のとおり) 防災安全課 小松課長、門脇課長補佐、永谷防災係長、守屋技術主査 丹野主査、鎌田
内容	<p>○名取市防災会議 進行：門脇課長補佐</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>1) 名取市地域防災計画の修正案について 永谷防災係長より資料に基づき説明 質疑なし、承認された。</p> <p>2) その他 (事務局より)</p> <p>その他議事1：現在、災害時応援協定について民間事業者と打ち合わせ中のものがあり、協定締結日にもよるが、資料編の「災害時応援協定一覧」に追記する件について、事務局に一任願いたい旨説明した。 質疑なし、承認された。</p> <p>その他議事2：女性や乳幼児等要配慮者に係る災害用備蓄品について、新たに追加を検討している品目についてご意見を頂戴し、これを踏まえ、今後の備蓄品整備に努め</p>

て参りたい。

質疑①：乳幼児のおむつ、ショールなどの備蓄検討はされている。今回新たに防犯ブザーやホイッスルの検討もされているが、大切なことだと考えている。避難所の体験談を見てみると、着替えを覗かれたとかの性被害も見られる。ただ、声をあげずらいという意見もある。自衛を求めるだけでなく、安全な環境を作っていくことが重要である。今後も女性の視点だけでなく、医療度の高い難病者とか集団の中で過ごすのが難しい音への過敏だとか、集団の中で過ごすことが難しい障害のある方など、様々な方に対して可能な範囲で、事前に災害時の環境について検討しておけば、有事の際に対応していけるものとする。

回答①：性被害やプライバシーの保護、特別な配慮が必要な方についても、できる限り対処してまいりたい。

質疑②：資料の、要配慮者に向けた備蓄品の一覧というのは、当事者にある程度聞いてまとめたものなのか伺う。

回答②：備蓄計画作成時に、子育て中の女性職員や、東日本大震災時に避難所で勤務した女性職員、また令和元年台風 19 号で避難した経験のある女性職員などから意見を頂き、災害時に何が必要なか確認をしながら進めたものである。

質疑③：避難所の運営についても、先ほどの意見でもあったように、女性の視点や多様な視点は必要であり、現状、どなたが運営し、そこに女性など多様な視点が関わっているのか伺う。

回答③：避難所運営については、多様なところまでではないが、男女の職員を配置している。

質疑④：職員が運営にあたっているということか。地域の方が係わるという状況ではないのか。

回答④：避難所に配置する職員は決めている。災害が起こったら職員が避難所を開設している。その後、避難が長期化する場合には、当然その避難された方々と一緒に運営していく形になる。

質疑⑤：職員は災害が起こると業務が増えるので、避難所の運営にあたるのも難しいと考える。日常的に地域の方が避難所を運営する組織が立ち上がると、もちろんそこに職員や施設管理者なども入ると良いが、地域で暮らす人たちが中心となって、そういう人たちが避難してもなるべく安心できる避難所にするためにも、地域の中で日常的に避難所の運営、それから運営訓練というものがあれば、職員の方も助かるのではないかとこの思いがあり、意見として述べた。

回答⑤：貴重な意見であり、ありがたい。参考とさせて頂く。備蓄品の検討結果が出たら、委員の皆様にもお伝えする。

事後、その他議事2について承認された。

4 閉 会

以 上